

第 2 章

氣 象

第2章 気象

概況（平成19年）

1月

冬型の気圧配置は長続きせず、晴れる日が多くなった。平均気温はかなり高くなり、1月の平均気温は統計開始以来第2位の高さとなった。

2月

冬型の気圧配置は長続きせず、晴れる日が多くなった。2月の平均気温はかなり高く、統計開始以来第1位となった。

3月

上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。中旬は、冬型の気圧配置や寒気の影響を受けて、寒の戻りがあった。このため、気温の変動は大きくなったが、月平均気温は平年より高くなった。

4月

低気圧や前線が頻繁に通過し、天気は周期的に変化したが、発達した低気圧や前線の通過は少なく、降水量はかなり少なくなった。気温、日照時間は平年並だった。

5月

天気は周期的に変化した。高気圧に覆われて晴れる日が多く、日照時間は多くなった。また、上旬を中心に、日本海を通過する低気圧に向かって暖気が入りやすく、気温は高くなった。天気のくずれは寒気を伴った気圧の谷によるものが中心だったが、南からの暖かく湿った空気の影響を受け、まとまった降水を観測する日もあり、降水量は多くなった。

6月

前半は天気が周期的に変化し、後半は、梅雨前線の影響でまとまった雨となる日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日も多くなった。気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多くなった。

* 近畿地方は14日頃（平年6月6日頃、昨年6月8日頃）梅雨入りしたと見られる。

7月

下旬のはじめまでは、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に中旬は梅雨前線や台風第4号の影響でまとまった雨となった。気温は低く、降水量は多く、日照時間はかなり少なくなった。

* 近畿地方は24日頃（平年7月19日頃、昨年7月27日頃）梅雨明けしたと見られる。

8月

期間を通じて勢力の強い太平洋高気圧に覆われる日が多く、晴れて暑い日が続いた。期間の終わりには上空の寒気や前線の影響で、まとまった雨となる日があった。気温はかなり高く、日照時間はかなり多くなった。

9月

中旬を中心に勢力の強い太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。気温はかなり高く、9月の平均気温としては1883年の統計開始以来1位タイの高い記録となった。降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなった。

10月

天気は数日の周期で変わった。また、寒気の影響を受けにくく、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かったため、気温は高くなった。降水量は少なくなった。

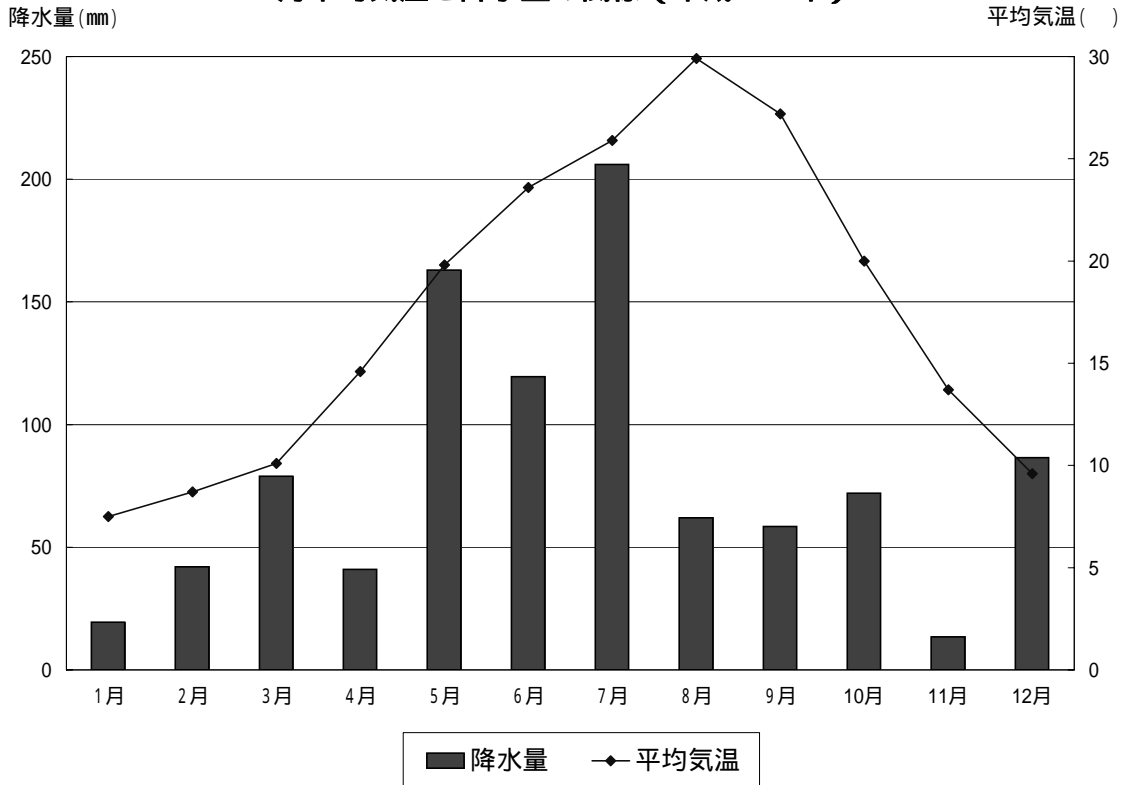
11月

上旬は数日の周期で天気が変わり、気温は高くなった。その後は高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、中旬後半から下旬前半にかけては、寒気の影響で気温が低くなった。また、低気圧や前線の影響は小さく、降水量はかなり少なくなった。

12月

冬型の気圧配置となる日は少なくなった。中旬以降は、気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、下旬にはまとまった雨となる日があった。気温はかなり高く、降水量もかなり多く、日照時間は少なくなった。

月平均気温と降水量の関係（平成19年）



月別日照時間（平成19年）

